

関連事業所



相談支援センター優愛 所沢 (TEL: 04-2937-5433)

障害を抱える子供から大人までの相談を

未就学児から成人した方まで、幅広い方々の相談をさせていただきます。未成年の方であれば、保護者・学校・本人・行政機関・事業所との架け橋になります。又、成人した方の相談であれば、就業先の担当者とやり取り等を行い、生活を支える相談を行います。



キッズサポートぱれっと (TEL: 04-2936-9460)

『衣食住』『地域生活』に焦点を当て人生を豊かにするLST

『出来た』から『得意』にトレーニングを重ね自己肯定感を高めます
子ども一人ひとりに焦点を当て、事業所独自の評価表を基に個別のプログラムを行います。



キッズサポートにじいろ (狭山:04-2935-4294 / 入間:04-2968-6971)

医療機関と連携とりハビリを強化した療育

子ども達の「生活をする力」(移動力・判断力・自己表現・伝える力)に焦点を当て5年後、10年後、もっと先の将来をイメージしながら取り組みます。又、看護師が在中しており、医療機関やOT・PT・STなどのリハビリ専門職とも連携をしながら療育に取り組みます。



スタディサポートMJ (狭山:04-2937-4023 / 入間:04-2968-9351)

成りたい自分に向かって座学・練習・実践

進学や卒業後の就労を見据えて、大人になった時に必要な力を身に付けて行きます。
学校との連携を高め学習内容に沿った支援を行います。
又、夢を実現できるプログラムを子ども達と一緒に考え行います。



Design Base 就労継続支援B型 (TEL: 04-2937-6563)

より良い人生をデザインする

仕事もプライベートもどちらも充実出来る働き方を目指してサポート致します。SDGsをコンセプトに地域の建築業者から廃材を頂き「子ども向けの玩具」「様々なノベルティ」「木質ペレット(バイオ燃料・猫砂)」制作します。その他にソーイングやアクセサリやデザイン制作を行っています。

学校との連携

今までの放課後等デイサービスは、子どもに対しての「学校」との将来の「見通し」が必ずしも一致していない事がありました。大きな部分で一致していたとしても細部ではズレがあったと思います。又、主生活である家庭と学校生活のサポート役である意識を高め、架け橋となれる存在を目指します。情報交換を密に行う事により、色々な角度から本来の姿が見えてきます。将来の可能性を広げるきっかけになる環境作りを行います。

概要

事業所名	スタディサポートMJ所沢
事業名	放課後等デイサービス
営業日	月曜日～金曜日
営業時間	◇ 平日(授業終了後) 11:00～20:00 ◇ 学校休業日 9:00～18:00
サービス提供時間	◇ 平日(授業終了後) 1部 14時00分～18時00分 2部 18時00分～20時00分 ◇ 学校休業日 1部 10時00分～15時30分 2部 15時30分～17時30分
送迎	1部 迎え送りの送迎有 2部 自主通所、もしくはご家族様対応
休業日	年末年始・ゴールデンウィーク・お盆



狭山ヶ丘駅西口を出て徒歩5分程です。



ホームページ

関連事業所のパンフレットや
会社の概要をご覧いただけます。



instagram

事業所の活動風景等を掲載
しています。是非ご覧ください。



tokorozawa

就労・進学サポート型

一人一人のゴールに向けて歩みだす

□ スタートとゴールは人それぞれ

一人一人が始めるスタート地点は同じではありません。ゴールもみんな違います。高校を卒業するまでに、それぞれの時間が流れています。それぞれのゴールに向かって、保護者の方や学校の先生の方々とたくさん話し合っていきます。話しの中で、卒業までの時間を逆算し必要なスキル繰り返し行い、深めていきます。

□ 話し合いを大切に

大人になる為に必要な準備は「自分を肯定し続ける心」です。しっかりと自分を肯定できる心が出来ていれば、困難に直面しても、挫折して落ち込んでも自分を立ち直らせる事が早くできます。先生とのコミュニケーションの中で「自分自身と向き合う事」や「相手と向き合う事」を学び、大人になる準備をしていきます。

□ 共通「自立」にむけた手段を学ぶ

一言で「自立」と言いますが、精神的な自立と手段や方法を習得して覚える自立があります。精神的な自立は、時間をかけて少しずつ成長していきますが、勝手に成長はしていきません。自立する手段や方法を学び覚えて実用していく事で、知らないうちに心も自立して行きます。

•いつかは、親元を離れて生活するその時の為に・・・

• 特性に合わせた買い物の方法

現金の計算が苦手でも自分なりの方法で購入する事や、渡されたお小遣いを自分で管理していく手段やツールを見つけ出して行きます。

• 外出先や生活で困った時に助けを呼ぶ方法

困った事を誰かに伝える方法を学びます。例え、声に出して言えなくても何らかのツールを使って行う方法や特性に合わせた方法を考えて行きます。

• 時間を守る方法

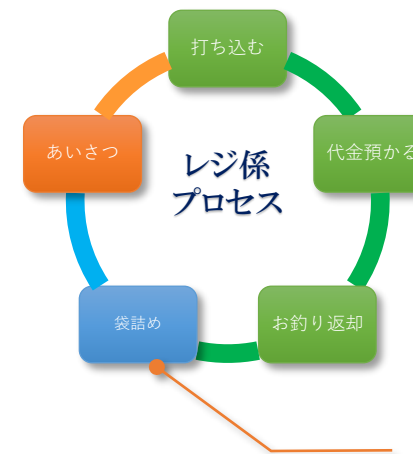
親元を離れて生活した時に必要な時間の感覚（起床・食事・就寝の時間等）や、誰かに指示された時間を意識しながら作業を行う事などを学びます。

• 身だしなみや気遣い

TPOに合わせた身だしなみや、普段から必要な清潔感覚(身体の清潔・寝ぐせ・メイク)、外出前に鏡をみる意識などを年齢や性別に分かれて学びます。

□ 第一部「出来る」を深める ～プロセスを紐解く～

《取り組む課題》例えばレジ係



少人数グループでの対応

3～4名のグループに分かれて、1対2の職員体制で行っています。グループでは、出来る所から始めるグループと簡単な復習をして応用から行うグループに分かれます。

課題へのアプローチ方法

一言で「レジ打ち」と言っても細分化すると様々な動作をこなした結果の総称が「レジ打ち」です。この「様々な動作」を一つずつ、児童の特性に合わせて「学習」「練習」「実践」を繰り返し行い、身に付けます。

例えば「袋詰め」の作業では、「袋を選び」「商品を正しく入れ」「相手に渡す」を一つ一つ学びます。

□ 第二部「自分で考えて発見する」～先生と歩むPDCA～



勉強・資格取得・趣味等を行うのに共通して大切な事は、自分の中でゴールをイメージしていく事です。そのイメージを元に、どのように計画を立てて取り組んで行くのかを学びます。イメージを作り上げる為に必要な事として、自分自身を正しく評価できるスキルも必要です。先生とコミュニケーションを取りながら、身に付けて行きます。

•ビジネスや教育の場でも使われているPDCAサイクルを用いて計画を立て行きます。

P(計画)＝これからすることを考える

一つ目は、目標を具体的にイメージします。一人で考えていてもイメージは膨らみません。先生と一緒に話し合って目標に対して必要な事・必要な期間を調べて行きます。

D(実行)＝計画したことを実行する

計画で決めた内容を、実行して行きます。ポイントとしては「達成できる事」から行きます。又、この時に自分に適した学習方法を見つけて行きます。

C(評価)＝実行した結果を評価して行きます。

実行した結果を振り返り、評価して行きます。ポイントとしては出来た事に注目して、なぜ出来たのかを分析して行きます。その上で、出来なかった部分をどのように出来る事へ変えて行くのかを考えて行きます。

A(改善)＝見直しをかけて、次の計画に進む

評価を元に全体の見直しをします。どうして望む結果に至らなかったのか？どうしたらよかったのか？を先生と一緒に考えて新たに目標を設定して行きます。